

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

国際教育学科	名前(読み)	呂建輝 (ろけんき)
	職名	講師
	取得学位	博士(文学)
	専門分野 研究領域	日本語学(音韻論)
	担当授業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合日本語Ⅰ(基礎) ・総合日本語Ⅱ(応用) ・日本語表現Ⅰ ・日本語表現Ⅱ ・文章作成 ・日本語EX(文型・会話) ・フレッシュマンセミナー ・基礎ゼミナールⅠ ・ゼミナールⅠ ・特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ ・インターンシップB
	研究業績	<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月「漢語連濁の史的変遷—後部要素が「産」の漢語について—」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』37(査読あり) ・平成27年11月「漢語連濁の通時的考察と接尾辞化—「～勢」の場合—」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』40(査読あり) ・平成27年12月「漢語の連濁と意味用法の史的変遷に関する研究」(博士論文, 岡山大学) ・平成28年5月「漢語連濁の通時的考察について」『日語教育與日本学研究——大学日語教育研究国際研究会論文集(2015)』中国華東理工大学 <p>【書評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年3月「江雯薰著『現代日語常用句型 以中高級日語為中心』」『岡大國文論稿』44(査読あり) <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月「現代日本語における連濁現象の一考察—後部要素が和語動詞・和語動詞連用形のものについて—」平成二十四年度岡山大学言語国語国文学会(岡山大学文化科学系総合研究棟2階共同研究室) ・平成24年8月「意味と連濁の関わりについて」第243回筑紫日本語研究会(九州地区国立大学九重共同研修所) ・平成25年10月「「～産」の連濁の史的変遷について」2013年度日本語学会中国四国支部大会(広島県民文化センター・サテライトキャンパスひろしま) ・平成26年5月「連濁条件の推移と意味変化—後部要素が「本」の場合—」第313回日本近代語研究会春期大会(早稲田大学国際会議場3階第一会議室) ・平成26年10月「漢語連濁の史的変遷と意味用法の一側面について」日本語学会2014年度秋季大会(北海道大学札幌キャンパス学術交流会館1階小講堂) ・平成27年5月「連濁研究の沿革と通時的観点による連濁分析」2015年度日本語教育と日本語学研究国際シンポジウム(中国上海理工大学滬江国際文化園英国文化交流中心三階) ・平成29年7月「「～山」の連濁についての一考察—現代語を中心に—」平成二十九年度岡山大学言語国語国文学会(岡山大学文法経済学部一号館二階文学部会議室)
	所属学会 学会活動	岡山大学言語国語国文学会雑誌担当 日本語学会会員 西日本国語国文学会会員
社会貢献	岡山大学国際同窓会会歌(作詞・作曲)	